

# 鎌倉



## しくみ一覧

- 伊豆神社 338.11km - 白旗神社 - 浮島稲荷神社 338.11km
- 伊豆神社 338.19km - 北条義時法華堂跡 - 大沼浮島 338.19km
- 市杵嶋神社 337.98km - 八雲神社 - 大沼浮島 337.98km

## 詳細

- 伊豆神社 338.11km - 白旗神社 - 浮島稲荷神社 338.11km

## 左極

### 伊豆神社（榛原高井）

創祀は不詳。社頭掲示板によれば、創立延長3年（903）の頃にこの里の氏神として祀り、長久3年（1043）に御井神社の神（生井神・福井神・網長井神三柱）の内福井の神一柱を此所の産土神とし、元来御井神社を氏神としていたのを高井独自の氏神（伊豆大神）を勧請したと記される。

祭神；伊豆大神（高水上神、福井神二柱）・大山祇命

神宮寺は元禄の頃に真言宗から浄土真宗に転宗。（浄土真宗本願寺派）慧日山「真楽寺」。弥勒菩薩像と不動明王・毘沙門天の脇侍像を安置。巨杉は幹周6.8m、樹高49m有る。例祭；11月3日 山車（布団太鼓、枕太鼓）が出ます。

奈良県宇陀市榛原高井501



## 中道角

### 白旗神社

鎌倉幕府の創設者であり、初代の鎌倉殿、源頼朝は正治元年（1199）1月13日に死去した。頼朝は自身の持仏堂である法華堂に葬られた。頼朝の死の1年後、この法華堂では頼朝の一周忌の仏事が行わ

れている（『吾妻鏡』正治2年（1200）1月13日条）。以後も頼朝関連やその他の仏事が毎年のように行われており、鎌倉幕府における祭司や仏事において重要な寺であったことがわかる。宝治元年（1247）の宝治合戦では、敗れた三浦泰村らの一族500名が法華堂で頼朝の御影の前で自害したとされている（『吾妻鏡』宝治元年（1247）6月5日条）。法華堂は一種の寺であり、本尊は阿弥陀如来であったとされる。江戸時代は鶴岡八幡宮寺の相承院が管理していた。明治期になると神仏分離のため相承院から分離され、明治5年（1872）に頼朝を祀る白幡神社が鶴岡八幡宮から移された。鎌倉市西御門2丁目1-24



**右極**

**浮島稲荷神社**

祭神は「宇迦之御魂命」「天熊之大人神」。神池の大沼には大小の葦の島が風や流れに関係なく浮遊し、江戸時代には国の数 32 あり、その動きで吉凶を占っていたとされる。沼は白竜湖とも呼ばれ弁財天が祀られている。大円寺『朝日嶽縁起』（1505年）によると、朝日岳の麓に御手洗の「大富沼」があると記されている。

白鳳9年（681）役の小角（役の証覚・役の行者）が弟子の覚道を連れて出羽路に来た折、大谷川（朝日町大谷）のほとりで梵字が記された板碑が流れくるのを見つけ、川をさかのぼり、60余りの島が浮遊する神池大沼を見つけた。湖畔に浮島稲荷大明神を祀り、弟子覚道を別当（大行院）とし朝日岳修験が行なわれた。建久4年（1193）には寒河江荘地頭となった大江広元の進言により源頼朝の祈願所になり、その後も大江家、徳川家、最上家にも祈願所として崇敬された。国指定名勝。  
山形県西村山郡朝日町大沼

**■ 伊豆神社 338.19km - 北条義時法華堂跡 - 大沼浮島 338.19km**

**伊豆神社 ※上記参照**

**北条義時法華堂跡**

北条義時は、源頼朝亡き後の御家人による政権争奪に深く関わり、畠山重忠の乱後は、父時政を鎌倉から追放し二代執権の座についた（畠山重忠の乱 畠山重忠殺害と北条氏の世代交替）。将軍源実朝の暗殺では、裏で暗殺者である公暁を操っていたとも考えられている（源実朝の暗殺（源氏の滅亡） 実朝の暗殺）。1221年（承久3年）には、後鳥羽上皇が起こした承久の乱を鎮圧した。北条執権体制を確立した義時は、1224年（元文元年）6月13日、62歳で急死したが、暗殺されたのではないかという説もある。  
鎌倉市西御門2丁目-5-7



**大沼浮島**

大沼浮島は、湖畔にある大沼浮島稲荷神社（祭神/宇迦之御魂神）の神池とされ狐の形をしている。沼には大小の葦の島が風や流れに関係なく浮遊し、江戸時代には国の数 32 あり、その動きで吉凶を占っていたとされる。沼は白竜湖とも呼ばれ弁財天が祀られている。大円寺『朝日嶽縁起』（1505年）によると、朝日岳の麓に御手洗の「大富沼」があると記されている。



白鳳9年(681)役の小角(役の証覚・役の行者)が弟子の覚道を連れて出羽路に来た折、大谷川(朝日町大谷)のほとりで梵字が記された板碑が流れくるのを見つけ、川をさかのぼり、60余りの島が浮遊する神池大沼を見つけた。湖畔に浮島稲荷大明神を祀り、弟子覚道を別当(大行院)とし朝日岳修験が行なわれた。建久4年(1193)には寒河江荘地頭となった大江広元の進言により源頼朝の祈願所になり、その後も大江家、徳川家、最上家にも祈願所として崇敬された。国指定名勝。

山形県西村山郡朝日町大沼

**備考**/浮島は、現在は数も減り、岸に付き動かないことが多いが、動く時は流れや風に関係なく意志があるかのように動き回り驚く。役の小角は梵字が書かれた板碑が流れてきたのを見つけたのだから、すでに大沼は異教徒の浮島信仰の地だったはず。稲荷神社の神池とされるが、元々「大富沼」が大沼なら出雲系「富一族」の祀る沼だったのだろう。大朝日岳にも大富観音が祀られていた。元々弁財天や龍神の神池に稲荷神が祀られたのだと考えられる。あるいは、730年に「大沼社を南西の丘に移す」記述があるが、その時に稲荷社にすり替えられたのかもしれない。いずれにせよ、古いしくみはほとんどが稲荷神社ではなく大沼の鳥居の立つ「出島」(写真/浮島と奥に出島)が起点となっている。弁財天を祭神とする大沼浮島社(仮称)はここにあったはず。全国に散らばる浮島神社の総本宮ではないか。そして、多くの神社の神池に浮島のごとく島が作られ弁財天や市杵島姫が祀られているのも本来は分社だったのではないだろうか。池に囲まれた古墳すらも浮島に見えてくる。古代史を探る時、きっと浮島信仰は重要な鍵になると思われる。

## ■ 市杵嶋神社 337.98km - 八雲神社 - 大沼浮島 337.98km

### 市杵嶋神社

市杵嶋神社の姫神さまが 御井神社の天照皇大神さまに会いに行くお祭りが開かれる。出立前の神事一式は榎原神宮の神職が奉仕。

宇陀市榛原内牧



### 八雲神社

祭神/須佐之男命、稲田姫命、八王子命

もとは鎌倉祇園社や祇園天王社などと称したが、明治維新に際して現社名に改称した。社伝によれば、永保年間(1081~1083年)、源義光が奥州へ向かうのに際し、鎌倉に疫病が流行しているのをみて、京都祇園社の祭神を勧請し、祭ったのが始まりと伝えられる。応永年間には、義光の子孫である佐竹氏の屋敷に祀られていた祠が合祀され、佐竹天王と称した。

神奈川県鎌倉市大町 1-11-22



**大沼浮島** ※上記参照

### 備考

鶴岡八幡宮と浮島稲荷神社のつながりは見つけられなかった。宇陀市と鎌倉時代が関わっている。探せばもっとつながりがわかるだろう。その名のおりの伊豆神社とつながる。浮島稲荷神社のある朝日町にも伊豆権現神社がある。きつとなんらかのつながりがあるはず。